

科目責任者 矢久保 修嗣 (臨床漢方研究室)

■ 教育目的

臨床検査の実施に必要な基本的で実践的な検査技術を修得する。さらに検体の取扱い法、検査の基本原理と検査実施上の留意点とその臨床的意義を身につける。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-③、YD-④】

【卒業認定・学位授与の方針：SD-③、SD-④、SD-⑤】

■ 学習到達目標

代表的臨床検査の実習を通じて、臨床検査技師として要求される態度、技能、判断力、評価能力を身につけ、臨床検査病院実習に備えることを目標とする。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：臨床検査関連科目の履修内容を復習し、参考書に目を通して、実習内容の概要を把握しておくこと。

復習：実習内容をよく整理し見直して、疑問点を残さないようにしておくこと。

■ 授業内容

代表的な臨床検査を自ら実践し、その検査技術を修得する。検体中に含まれる成分の生化学的分析や、検体の形態観察、さらにモデルを使った採血や生理検査を実施する。検査の流れと検査試薬・機器の取扱いと管理を経験するとともに、検査の質評価に関連する技術と知識を修得する。

No.	項目	授業内容	SBO コード
第Ⅰ期			
1～2	臨床検査の基本	・ 検体検査における検体の取り扱い ・ CBC	
3～4	血液学的検査	・ 血球形態の観察、白血球百分比 ・ 血液凝固検査	
5～7	血液生化学的検査	・ 血清無機質濃度の測定 ・ 血糖値および血清コレステロール濃度の測定 ・ 血清酵素活性の測定	
8	一般検査	尿検査、糞便検査	
9～10	微生物学的検査	・ 細菌の分離と培養・同定 ・ ウイルス性疾患の免疫学的診断	
11～12	生理機能検査	・ 心電図検査 ・ 心音図検査、筋電図検査、脳波検査	
13	超音波検査	超音波検査の基礎	
14	病理検査	病理組織切片の作成	
15	臨床検査データの解釈	検査データの解釈に関する演習	
第Ⅱ期			
16～18	医用電子工学の基礎	電子機器の取り扱い方	
19～21	//	増幅素子の特性	
22～24	//	変換素子の特性	
25～27	//	増幅器の総合特性	
28～30	//	電氣的安定性の測定	

■ 授業分担者

野澤 玲子、田中 靖子 (No.1～4・8・11～15)、長浜 正巳、石田 洋一 (No.3～4)、石井 一行、東 恭一郎、鈴木 俊宏 (No.5～7)、森田 雄二 (No.9～10)、野口 保、杉原 稔 (No.16～30)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

出席状況（60%）およびレポート等（40%）にもとづいて総合的に評価する。

■ 単位認定方法

上記の成績評価で基準点を超えた者に単位を認める。

■ 教科書

特に指定しない（必要に応じてプリントを配布）。

■ 参考書

『臨床検査法提要第 33 版』金井 正光 監 (金原出版)、『改訂新版 臨床検査 基準値ノート』河合 忠・庄司 優 編 (薬事日報社)

■ その他

本科目を選択した場合本科目の受講を最優先にすること